

北九州

EVENT TOPICS

連携室の仕事

2月26日に福岡県水巻町の遠賀中間医師会館で開かれた第138回患者塾。後半のテーマは「連携室の仕事」。医師がより早く、より適切に医療に当たられるようサポートする連携室の役割について、病院の連携室担当者や医師が語り合った。

紹介元への指摘 判明した緊急性

小野村さん 高齢の島さんから電話があり糖尿病の患者さんが少「緊急性はないですか」と聞かれました。本人で、おんが病院に連絡はそれほどでもないとし、診療情報提供書を思っていたようです送りしました。そうしたが、言われてみるとやはり地域医療連携室の辛



辛島則子さん

⑥

ないようなことを指さしました。循環器と糖摘してくれたお陰で尿病の医師とで治療がスムーズにスタートした。俊敏な措置が取れました。辛島さん ファックスで送られてきた診療情報な病気を持っている患者さんのため

院内各診療科の調整も

い心筋梗塞かもしれない」と思ったのでそう告げました。おんが病院で検査してみたら心筋梗塞でした。連携室が、医師が気付か

患者塾

医療の疑問にやぶくらく

出席された方々

- 西野憲史さん 西野病院(北九州市)
- 島則子さん 遠賀中間病院(北九州市)
- 本智恵さん 西野病院
- 医療相談室 伊藤重彦さん 北九州市立八幡病院(外科)
- 安永香 郎さん 北九州市立八幡病院連携室
- 小児科 小野村健太さん 北九州市立八幡病院
- 小児科 小史朗さん 小児科



安永香さん

伊藤さん 患者さん早く結果を知りたいことも多く、医師同士で話をすれば済むこともあるのです。すべて連携室を運ぶということ

幅広い 相談に対応

「今後のあり方」

を連携室の方が組んでくれれば良いと思いが、また、子供がいる母親のために受診の間は子供を見ていて

には寄せられます。「医師からこんなことを言われたけれどよく分からない」など困ったことがあれば、何でも相談して下さい。

小野村さん 連携室の役割と今後のあり方についてどう考えていますか。

宮本さん 退院したらどこに行けばいいかという相談だけでなく、自宅に戻った後の介護をどうすればいいかという家族からの相談や、医療費など経済的な相談も医療相談員

質問は事務局へ
〒807-0111 福岡県芦屋町
白浜町2の10
「おのむら医院」内
電話093-222-1234
FAX093-222-1235